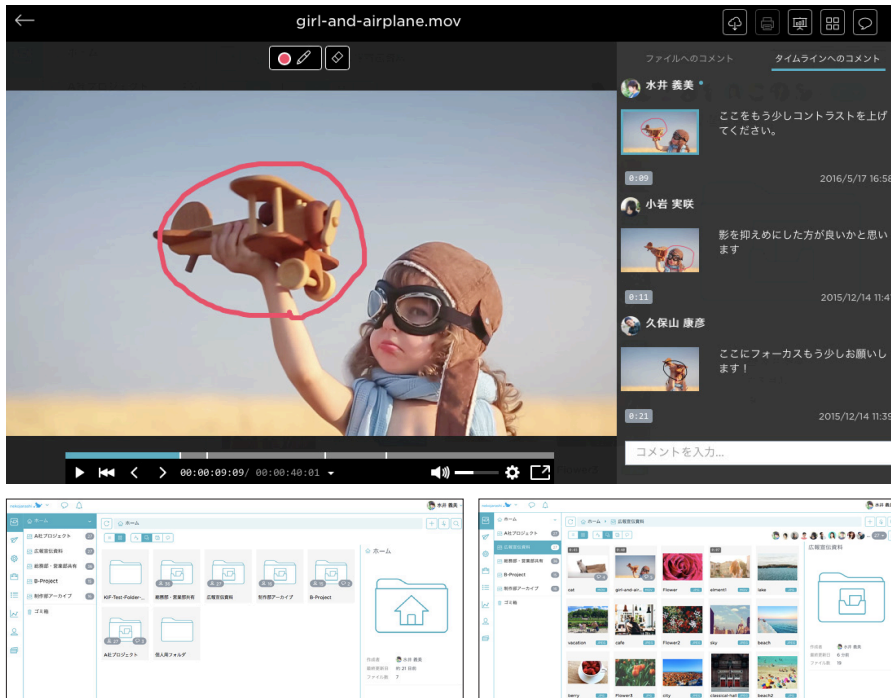


映像・デザイン業界に特化したクラウドストレージサービス Jector

Nekojarashi inc. <https://jector.jp/> 03-5572-6564

上／修正箇所を直接画面にマーキング。コメントは画面右のタイムライン上に並んでいく。
 下左／ホーム画面。下右／サムネイル画面。新しいコメントがあるとメンバー全員に自動通知。直感的な操作性で、簡単にデータ共有できる。



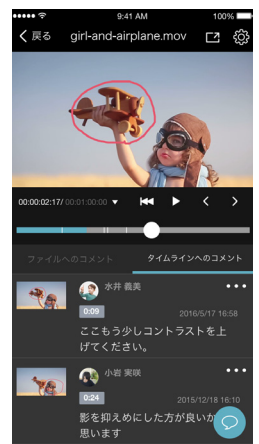
上／iOSにも対応。iPhone、iPadで使用可能だ。下／プロジェクトフォルダ内のユーザーには、それぞれオーナー、マネージャー、エディター、ビューアー、プレビューアーという5段階のアクセス権限を付与できる。

いつでもどこでも、簡単に安全にデータを共有できる

チームで制作するクリエイティブワークにおいて、今やクラウドストレージはなくてはならないサービスだ。しかし、扱うデータが大きいとアップロード、ダウンロードに時間がかかる。セキュリティも悩みのタネ。そんな映像・デザイン制作現場の悩みを解決するために生まれたのが、クラウドストレージサービスJectorだ。2014年10月にスタートし、東北新社、CBCテレビ、小山登美夫ギャラリーなどでの使用実績がある。Jectorの魅力のひとつが、一度データをクラウド上にアッ

プしてしまえば、あらゆるファイルをプレビュー、ストリーミングできること。これによって、ダウンロードやファイル変換の煩わしさから解放される。様々な映像ファイルはもちろん、Photoshop、PowerPointなどにも幅広く対応している。不正アクセス防止のため、2段階認証、IP制限、デバイス制限が可能。また、ログによるユーザーのアクティビティの把握、プロジェクトフォルダ毎にメンバーの権限を5段階に設定することで、強固なセキュリティを実現している。

業界の声を反映した使いやすい機能の搭載も特徴。任意のタイムラインを指定し、画面に直接指示を書き入れてコメントを付け、メンバー同士でコミュニケーションできるマーカー機能は、言葉では伝えづらい映像の修正指示を、目で見てわかる形で、どこからでも確認できる。料金は、1アカウントあたり2000円、1GBあたり20円。1ヵ月単位の契約が可能で、実際のプロジェクトに合わせた運用ができる。30日間の無料お試しもある。詳細はJectorサイトを参照。



これから実装を予定している、ムービープレイヤーの画面。